

2020年度 学校関係者評価報告書

学校名：東海工業専門学校金山校

1 学校目標

<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会貢献のための新事業の検討 ・教職員の意識、行動の更なる活性化 ・目標、プロセスの見える化の推進 ・経営の効率化 ・広報力の強化 ・国際化の取り組み

学校目標に対する評価・意見

<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にはとても厳しく自校の評価をしており、学校目標に対して高く評価できる。 ・教職員の質の向上には、自身の憧れややりがい体験が鍵となるが、外部講師等を利用して更に進めて欲しい。 ・教職員のコンプライアンス意識の向上については、研修会参加経費を計上する等の取り組みについては評価できる。 ・学科ロードマップの教職員全員に対する周知徹底と教育プロセスの意思統一に対する対応が必要である。 ・教育の限界という言葉が気になったが、現代社会においては多様性を認め、それらに対応していくことも求められている。 ・コロナ禍の中、多様性のある教育を推進するためには、教育格差の縮小を基本にオンライン授業を中心とするICT教育への推進を図る必要がある。 ・資格の取得は就職に対して最大の武器であることを自覚し、学生には社会的な個人評価の指針となることを再確認させてほしい。 ・就職に対する意識づけとして、学生時代と現実的な会社のふれあいを中心とする相互の目的意識の共通化を図る。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策による苦労する1年になるが、土曜日出校や夏休み短縮、各種行事を中止し所定の時間数を確保する等、努力が感じられる。
--

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
(1) 教育理念・目標	3.8	3.6	3.8
(2) 学校運営	3.6	3.8	3.8
(3) 教育活動	3.6	3.6	4.0
(4) 学修成果	3.6	3.6	3.6
(5) 学生支援	3.4	3.4	3.6
(6) 教育環境	3.6	3.6	3.6
(7) 学生の受入れ募集	3.8	3.8	3.8
(8) 財務	3.8	4.0	4.0
(9) 法令等の遵守	3.6	3.6	4.0
(10) 社会貢献・地域貢献	3.4	3.0	3.4
(11) 国際交流	3.0	2.8	3.2

3 今後の改善意見

- ・重点項目となるビジョンを示し、それを実現すべき中長期の計画を策定する取り組みが必要である。
- ・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制の確立とその遵守についてのチェック機能の構築が必要である。
- ・最先端の知識や技能を修得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが必要である。
- ・退学理由は学力不足、精神病、家庭内問題等多様化しているが、学習意欲喪失への対策として資格試験への積極的な取り組みと専門知識の向上機会が必要である。
- ・18歳人口減少に向けた少子化対策の一環として、女性の活躍を紹介して女子学生の募集強化を継続させる必要がある。
- ・地域に対する公開講座や教育訓練（資格取得講座）を積極的な取り組みは必要である。
- ・国際交流の一環として、留学生の受入れについて戦略を持った対応が必要である。

4 今後の具体的な改善方策

- ・学校と社会や会社との繋がりは、専門学校の骨格となる関係であるため、企業講話会を開催し、社会や会社との繋がりを強化させる。
- ・各ビジョンの5年後の到達目標（学校目標）と、2021年からの年度目標を現在作成中である。その目標に則り毎年実施していきたい。
- ・コンプライアンス体制の確立については、学園主催の「教職員研修」を活用し、各種法令に関して全教職員の知識を蓄える機会を増やす。
- ・教員の教育力向上においては、情報化社会を迎えてBIM・CIM・建設ICT等の各種講習会に参加しやすい環境作りをする。
- ・業界最前線で活躍する著名人や卒業生の講話などを通し、業界動向や職業教育を取り入れた行事を充実させる。
- ・すでに連携協定を締結している各県測量設計業協会での講習会をさらに発展させるとともに、リカレント講座や資格取得講座を計画し開講させる。
- ・留学生に対して、Thanksドリル等を利用し日本語力向上のための取り組みを更にすすめる。